

## 質問書に対する回答

件名) 常磐自動車道 日立トンネル(上り線)補強工事

No.	質 問 事 項	回 答
1	図面49/247 特記仕様書20-8 (2022年1月19日訂正) 図面49/247の材料表(標準使用量)には、仕上塗料(下塗り)0.20kg/m <sup>2</sup> 、仕上塗料(上塗り)0.16kg/m <sup>2</sup> と記載されており、塗料による仕上がりとなっています。 一方で、特記仕様書20-8には「JIS A 6909建築用仕上り塗材のうち、薄付け仕上り塗材、複層仕上り塗材相当品(ただし、可とう形・柔軟形を除く)を使用するもの」と記載されており、構造物施工管理要領Ⅲ-7-1-6(炭素繊維巻立て工法)の規定により、モルタル(1mm以上)による仕上がりとなっています。 どちらが正しいのかご教示願います。	現在、内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
2	図面49/247 (2022年1月19日訂正) 図面49/247の材料表(標準使用量)には、プライマー、不陸修正材(パテ)、含浸接着材、仕上塗料(下塗り)、仕上塗料(上塗り)のm <sup>2</sup> 当たりの標準使用量(kg/m <sup>2</sup> )が記載されていますが、使用する材料メーカーによって使用量が異なります。 規格に適合した材料であれば、承諾により変更が可能と考えてよろしいですか。	現在、内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
3	特記仕様書20-11 (2022年1月19日訂正) 設計要領第三集トンネル保全編(本体工)3-2-2小片はく落対策工及び3-2-3小片を超えるはく落対策工に規定する繊維接着系工法では、プライマー、不陸修正、含浸接着樹脂(下)、繊維シート(3軸ビニロン)、含浸接着樹脂(上)、上塗りという工程が例示されています。 トンネルはく落対策性能を有すると証明されており、規格に適合した材料であれば、上記工程とは異なる工程であっても、承諾により変更が可能と考えてよろしいですか。	そのとおりです。御社の施工計画に基づきお考えください。